

第8回都市計画マスタープラン見直し検討会議 議事録

日 時：平成28年1月14日(木)15:00～

場 所：消防局庁舎4階災害対策本部室

参加委員：10名 傍聴者1名

事務局：都市計画課、株式会社 集計画研究所

1. 開会

2. 都市計画シンポジウムの報告について

事務局 平成27年11月12日(木)午後2時から横須賀市役所3号館5階正庁にて開催し116名の参加をいただいた。基調講演では講師に本市都市計画審議会委員長、東京大学大学院教授の大方潤一郎先生を迎え「人口減少、少子高齢社会における都市づくり」について、専門である高齢社会に対応した都市づくりを中心に話をいただいた。

パネルディスカッションでは、コーディネーターに高見沢委員長、パネラーに村山委員、川名委員、昨年度各地区での意見交換会でファシリテーターを務めた田中さん、長島都市部長の4名で「横須賀市における都市づくりの方向性～拠点ネットワーク型都市づくりと都市魅力の創造～」をテーマに議論していただいた。

参加者にとって興味深い示唆に富む内容となったことに、改めて当日参加いただいた委員の皆さまにお礼申し上げる。

3. 第7回検討会議での意見に対する考え方について

(事務局からの説明後、議事)

委員長 16番の意見と考え方を改めて紹介していただきたい。

事務局 (意見等 説明略)

意見に対する考え方は、「ご意見で頂いたコンセプト『横須賀のイメージ向上と、多様な交流への発信』について、都市づくりの目標のサブタイトルである『～都市魅力で選ばれるまち横須賀～』を構成する主要な要素の一つであると考えています。プラン全体を通じて、それが伝わるよう、記述について検討したいと思います。」とした。こちらについては、見直しを行い、いろいろな部分に散りばめて、都市マスター改定案を事務局として作ってきた。内容的に反映できていると思う。

4. 議事：都市計画マスタープラン改定について

(1) 改定版策定までのスケジュールについて

事務局 今後のスケジュールは、本日の検討会議において改定案の確認をいただいた後に、2月10日に都市計画審議会による改定案の答申をいただく。続いて2月12日に関係課長会議である見直し検討部会において、この改定案の内容について最終的な庁内合意を図る。そして3月17日の企画調整会議にて、この改定案について横須賀市として政策決定を行うことで、「案」がとれ、改定版が決定されることとなる。

(2) パブリック・コメント手続きにおける意見と考え方について

事務局 昨年の11月6日から12月4日まで、意見を募集したところ4人の方から延べ38件の意見をいただいた。項目別には「都市づくりの目標」に1件、「都市づくりの方針」に7件、「地区別のまちづくり方針」に30件であった。(内容説明略)
このパブリック・コメント手続きで、修正点ならびにこれまでの検討会議での議論も踏まえ取りまとめた改定案が「資料1」として各委員に配られている。
検討会議も今回が最終回の予定であり、この改定案について今一度確認の審議をお願いする。

委員長 パブリック・コメントの意見への対応と今までの委員の皆さんからの意見を踏まえて改定案に集約したものを、全体を通してご覧いただき、意見、質問を出していただきたい。

新エネルギーを再生可能エネルギーに修正したように、前回の議論を踏まえて他に直した箇所にはいくつか触れていただきたい。

事務局 修正箇所はこれまで様々に議論し出していた意見に対応し、その時点ごとに修正を重ねている。そのため大きな修正はないが、文末の言葉の結びと全体的な言葉の整合を図る修正をかけている。

委員長 今回追加されている資料編について説明していただきたい。

事務局 資料編には、用語の解説、策定の経緯、人口データを掲載している。「用語の解説」は、解説が必要と考える用語を拾い上げ、その定義を解説している。「策定の経緯」は、検討部会、検討委員会、検討会議の経緯を載せている。またこれまでの取り組みとして、初年度に開催した「地区別意見交換会」の経緯と「大楠小学校における出前授業」を載せている。「検討体制」としては、検討会議、検討委員会、検討部会のメンバー構成を載せている。最後に地区別の人口、世帯数、世帯人員のデータを載せている。

委員長 他に何か質問や意見はないだろうか。

委員 44、45 頁の「重点的土地利用誘導の方針と整備方策」の谷戸地域や古い開発の住宅団地の土地利用について、整備方策として「共同建て替え誘導」とあるが、どのようなイメージなのか。いずれもこれから人口が増えず低密度化を含めて考えなくてはならないところだが、小さな建物を共同化して共同住宅にするということだとイメージがわからない。ここに「共同誘導建て替え」と書いている意味を教えてください。

事務局 まず、谷戸地域においては、メインの道路から入って行き止まりになるところで、道路を拡げながら共同住宅を造るといったことを想定している。
また、古い住宅団地も都市基盤は整っているが、これからの高齢化等を考えると戸建てで大きな住宅の中に1人という住み方よりも、ある程度共同住宅的なものもあり得ると考える。住宅団地は用途地域として1低層が多いので、その中での共同化を考えて記述している。

委員 45 頁の「地域性緑地」を「地域制緑地」と文字の誤りを正していただきたい。

事務局 修正させていただく。

委員長 他に意見や質問は無いか。これまでの感想でもよいのでないだろうか。

(特に意見、質問なし)

これまで議論を尽くしていただいた成果が「資料1」の案となっている。この改定案について検討会議により取りまとめた最終的な案ということで認め、この審議を終えたいと思うが、委員の皆さんいかがでしょう。

修正する点は修正していただき、異議なしということで認め、この「資料1」を改定案として事務局に委ねる。

以上で議事を終了とする。

5. その他

事務局 今回で検討会議が終了するにあたり、事務局を代表して長島部長より挨拶させていただく。(長島部長 挨拶)

委員長 これで検討会議を終了させていただく。1年以上お付き合いいただき、非常に特徴のある横須賀のプランづくりに携わらせていただいた。誠にありがとうございました。

6. 閉会